

# 6月の野菜の見通し

令和2年5月31日現在  
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	7,266	平年 並み	7,766	82	104%	93	0	0.0%	千葉県産は生育前進により切り上がり若干早まる見込みだが、まだ残量はある。後続の青森県、北海道産も前進傾向であるため、中旬頃は産地が重なることで相場は弱含み。全体量は前年並みで、平年並み～微減。単価は前年をわずかに上回るが平年比1割安。
キャベツ	16,644	平年 並み	15,880	76	105%	81	0	0.0%	茨城県、千葉県産は生育順調で、数量は平年並み。群馬県産は生育遅れにより数量は少ない見込みだが、他産地を含めた全体数量は充分にあり、上中旬にかけて相場は軟化の見込み。下旬には千葉県産の出荷が落ち着き、強含みの展開が予想される。単価は前年より若干高く、平年並み。
ねぎ	3,731	平年 並み	3,809	384	104%	404	0	0.0%	茨城県・千葉県産は生育良好、全体数量は平年並みの見込み。業務需要は低迷しているものの、輸入量が少なく、国産の需要は高め。梅雨入りし入荷量が減少すると相場が上昇するのは例年の流れ。単価は前年よりわずかに高く平年並み。
きゅうり	6,911	平年 並み	7,335	269	104%	258	130	1.9%	各産地、曇雨天、低温で樹勢が不安定。天候が回復後は増加する見込みだが、6月の全体数量は平年をやや下回る見込み。単価は前年をわずかに上回り平年を1割近く上回る。
トマト	8,511	平年 並み	8,881	253	103%	283	139	1.6%	5月下旬は熊本県産の入荷が一旦落ち着いたが、6月上旬にはもう一度ピークがある。6月中旬頃には青森県産が始まり、北海道産が増加。全体量は前年並み、平年比微減の見込み。単価は前年をわずかに上回るが平年比ではやや安い。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)